

しているか。  
③選挙公約の実行性についての市長の考えは。

答弁（都市建設部長）

①交付金の対象事業として認可された事業範囲での計画見直し、また交付金の返還が生じないよう茨城県と調整中である。

答弁（企画部長）

②44市町村中、財政力指数は17番目、実質公債費比率は27番目。平成33年度に普通交付税が減少し、標準財政規模が縮小する見込み。実質公債費比率は平成29年度にピークに達する見込み。

答弁（市長）

①公約実現のため、全面的見直しを指示した。すでに購入した土地は、多目的な広場として整備したく、県、国と交渉にあたっては、損害賠償については現在何も聞いていないので、答えるのは時期尚早だと思う。

②交付税の減少、税収減、医療費の膨大による財政圧迫未収金問題、経済雇用、赤字地方債、下水道整備による財政圧迫の7点で財政危機を訴えた。

③公約を実現することが、私に課せられた使命だと思っ

再質問

にぎわい再生事業について、

駐車場等をつくっていききたいことだが、我々はにぎわい再生ということで賛成している。何か新しい構想を考えていたいただきたい。

再質問（市長）

④行政は最大のサービス機関と位置づけているが、今後の方針は。

再々質問

④大事なものは公務員の意識改革である。市長報酬50%カットもトップとしてみずからその姿勢を示した。

高杉市長に問う

質問

街なか公園事業とは何か。

答弁（市長）

街なか公園事業とは、市街地ににぎわい再生事業のことである。

再質問

街なか公園事業、これだけににぎわい再生事業だと、その点だけ答えたと思うが、高杉市長の議員時代に街なか公園事業については一度たりとも議論に上がっていない。選挙に勝つために、まちなかにあ

再々答弁（市長）

皆さんの意見も聞きながら、真剣に考えていきたい。（その他の質問）

〇空き家対策について



金子 晃久 議員

かも公園ができてしまうというような言い方で、選挙に勝てれば何でも良いのか、それが本場に市長のあり方なのか。デマゴグとは、ギリシャで行われたペリクレス以降の政治で、衆愚政治という。その衆愚政治の第一人者、立役者にご自分が立っているのではないか。どう考えているのか。にぎわい再生事業、街なか公園事業と言っている事業だが、1点目、駐車場、2点目、災害拠点、3点目、市の行事

の拠点としてとらえていこうというようなことを言った。部長に答弁を求めるが、前長谷川市政時にこの3点に類似するような指示を受けていなかったか。

もし受けているのであれば、選挙で街なか公園事業というデマゴグによって、必要以上に市民の不安をあおり立てて、当選すれば何でも良い、当選したらそのような事業、そのような言ったことを忘れ去られてしまう。そして、前長谷川市政をある程度踏襲するようなやり方で、なし崩しの決着に持ち込もうとしているのではないかと、私は大変な疑義を持っている。

再質問（市長）

街なか公園事業は事業名でいえば市街地ににぎわい再生事業である。選挙では非常にわかりづらい、抽象的な言葉なので、まちの真ん中に公園をつくるということで、このようなフレーズを使わせてもらった。

再答弁（都市建設部長）

箱物、公園、道路はつくらないという市長の声明であり、今の時点で補助金も配分されているので、利用できるものは利用し、不要な補助金は返還していく。今後、平面的整備計画については、国、県と議論して、その活用をきちん

と整理していきたい。また、にぎわい交流広場について、各種イベントのメイン会場としての議論は当然行っている。

再々質問

都市建設部長に聞いたかったのは、駐車場、災害拠点、行事等の拠点に類似するようになににぎわい再生の指示を前市長から承っていないか。あったか。なかったか。あったか。良かったので、簡単に説明していただきたい。

再々答弁（都市建設部長）

類似するような件について、指示はあった。

（その他の質問）

〇8月3日付けの人事異動に関する辞令交付について



にぎわい再生事業予定地